

uhb

大学報

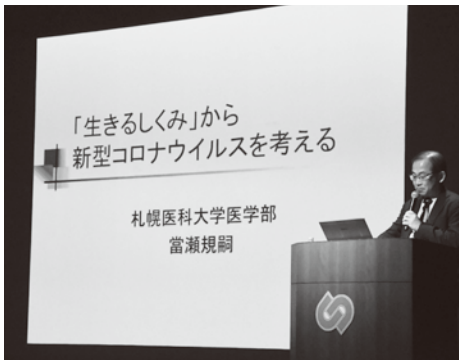
34期生を迎え令和初めての入学式開催

コロナ禍の中、感染対策を十分配慮し、4月13日道新ホールにて34期生24人を迎え入学式典が開催された。向学心に燃えた新入生はやや緊張の面持ちで新たな出会いと学びのスタートを切った。

式の初めに加藤雅規北海道文化放送社長、続いて加藤絃之学長からそれぞれ新入生へ歓迎の挨拶が述べられた。

そして、34期生を代表して桑島弘美さんが向学の決意を述べ、在校生を代表して31期生岩崎一さんが歓迎の言葉を贈った。

記念講演は札幌医科大学医学部教授の當瀬規嗣氏が「『生きるしくみ』から新型コロナウイルスを考えると題して、新



新入生は記念撮影をし、式は無事終了した。

北海道文化放送 代表取締役社長

加藤 雅規

今年も入学、通学いただきましてありがとうございます。

新入生の最高年齢は87歳で平均年齢は74歳との事。また、在校生の最高年齢は98歳で平均年齢は72歳と聞いています。

学ぶ事に年齢は関係なく元気に通学して、学ぶ場、集いの場で仲間を作り増やしていく場を作って下さい。コロナの件で集まり、集う事が少なくなり残念な限りではあります。新書版「ス



マホ脳」という本では、人に会う事は脳を刺激し活性化され気持ちを持ちを若くするとありました。勿論、実際にリアルに人に会うのが一番ですが、現状はなかなか難しいです。大切な場、家族、友人と普通に会話が出来る事が一番大切という事に気付かせてくれた1年でした。言葉で表現でき、ちよつとした感謝の気持ちを持ち、仲間と会い、会話を「ああいいなあ」と思える場にこのUHB大学がなれると嬉しい限りです。

長寿の心得

UHB大学学長 加藤 絃之

新入生の皆様ご入学おめでとうございます。コロナ感染が収まらない中での入学式。今年はいろいろ対策を打ち何とか開催できました。

昨年は入学式はおろか、6月まで休講せざるを得ませんでした。健康な高齢者の方々が過剰な行動制限する事はむしろ健康を害すると思います。ただし、重い糖尿病や心臓疾患などある方はもうしばらく自制していただき、感染防止をして下さい。このUHB大学は、4年間卒業後も大学院制度があり生涯学習を続けられます。

さて、古くから大和國靈山寺の「長寿の心得」サブタイトルに人生は山坂多い旅の道というのがあります。「喜寿77歳で迎えに来た時はまだまだ早いと言って追い返せ。傘寿80歳で迎えが来た時には、何のまだまだ役に立つと言え。卒寿90歳で迎えに来た時にはそう急がずともよいと言え。白寿99歳で迎えに来た時は、頃を見てこちらからボチボチ行くといい」とあります。人生100年時代を迎え、健康で長生きするには三つの事が大切だと思います。まず一つ目は、しっかり噛んで美味しく食べる事。楽しい食事を取る事に気をつけて下さい。二つ目は、かかりつけ医を見つけて定期的に検診を受けて下さい。いい医者選びも命のうちです。

近代医学の恩恵を是非受けて下さい。三つ目は、身近な話などおしゃべりをして下さい。友との語らいにUHB大学を活用して下さい。



最後に私の好きなラ・マンチャの男の唄に「道は究めがたく、腕は疲れ果つとも遠き星をめざしてわれは歩み続けん」

UHB大学で新しい人生の喜びを求めて、今日も良い一日だったなあと思える日が多からん事をお祈り申し上げお祝いのご挨拶と致します。



新入生代表
桑島 弘美
(34期生)

視野を広げ前向きな生き方を

令和3年の年が明け2月も半ばになろうとしている頃、私はUHB大学の入学願書を書きました。久々の入学と言う文字に、とても新鮮で心躍るウキウキとした気持ちとそして同時にやって行けるかな？と言う不安がよぎりました。そんな気持ちで過ごしていた頃、事務局の方から入学式でご挨拶



在校生代表
岩崎 一
(31期生)

充実したシニアライフをエンジョイ

新たな希望を胸にUHB大学に入学された新入生の皆さんおめでとうございます。コロナ禍の下で学ぶ意欲に敬意を表し心から歓迎します。昨年は、卒業式も入学式もなく7月からの開講となりました。私のUHB大学入学動機は、地方から札幌に転居してきて新たな第二の人生を踏み出そうと考えて

挨拶を...と言うお話を頂きました。そんな大役を私に出来る訳がないと悩んでいましたが、一代読も出来ますよ。出来る範囲で良いので」と言う優しい対応をして頂き、そして私がUHB大学入学を決めた時の気持ちを思い出しお引き受けすることに致しました。

私は長年福祉の仕事に携わって来ました。その間、同時進行で子育て・親の介護と息つく暇もなく、働き尽くめの毎日を送っていました。が、定年退職と共にそれらも終わりを告げ、そして丸3年が経過しました。気付いてみると体のあちこちに急激な老化を意識するありさ

まで、とすると沈みがちな毎日を送っていました。そんな中せっかく生を受けている今現在をもっと有意義に、そして前向きに楽しく生活して行く方法はないものだろうか？と考えあぐねていた時に、ふと今は亡き義理の父がUHB大学に通っていたことを思い出しました。義父が通っていたことで親しみも感じていました。

私は今も体に不調はありませんが、もともと大変な中、頑張っている方達がいっぱいいるのだと言うそんな広い視野を持ち、あえて出来ないことにもチャレンジしてみようと思いました。人生最後の

学校生活を様々な方々との出会いを通して、皆さんと共に楽しみを共有しながら学びを通して視野を広げ、前向きな生き方をして行きたいと思っているところです。どうか宜しくお願い致します。

最後になりましたが、このコロナ禍で大変な中、このような式典を催して下さいました関係者の方々に感謝を申し上げますと共に、新入生を代表してのご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

いものです。

この先楽しく元気に過ごすためには、「今日行く」つまりは「今日行くべき所があること、今日すべき所を作ること」「今日用」「今日用事があること、今日用事を作ること」

火曜日にUHB大学に出掛け充実したシニアライフをエンジョイして行きましょう。これからもコロナに負けずに皆さんがそれぞれ、ルールに従い、このUHB大学での出会いを大切にして一緒に生涯学習を学んで行きましょう。

新入生の皆さんの入学を心から祝し歓迎の挨拶と致します。

いたところ、何気なく目にした北海道新聞の記事でした。新たな仲間との出会いや学びを楽しみたい。その様な気持ちで入学を決めました。今年からは、午前中の一般教養講座は月1回に変わりましたが毎回違うテーマで各界の先生の講演があり、新しい発見など幅広く学ぶことが出来ます。

午後からは選択した講座でそれぞれ分かれて受講します。私の受講講座は健康太極拳で、一見するとゆつたりとした動きが簡単そうでなかなか難しいのです。ご指導下さる先生、講座の仲間と研鑽しています。10月には各講座での日々

の学習成果を文化祭で発表し、我々太極拳講座も舞台で演武披露しています。

例年であれば大学主催のビアガーデンではワイワイとジンギスカンを食べたり、日帰り旅行、講座対抗ボウリング大会、クリスマスパーティーなどの楽しい行事も組まれていましたが、コロナ禍の影響で昨年はありませんでした。その他に学生主体運営のゴルフ同好会、パークゴルフ同好会があります。私はドライバー一本とボール1個で初心者でも出来る奥深いスポーツです。講座の異なる方々との交流も楽し

令和2年度学位授与式

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となった式典。今年度も学位授与式中止が検討されたが、開催要望の声も多くあり急遽規模を縮小して感染防止策を徹底し開催された。

学位授与式典は3月23日火曜日午前10時半からカナモトホール2階の会議室で執り行われた。



初めに加藤学長が「皆さんの向上心・探求心に心から敬意を申し上げます。元気で健康でいるためには健康診断を受ける事も大切です。自然に帰る、家族のもとへ帰る、そして友と共に語る。人間、一人では生きていきません。このUHB大学で出会った友を互いに大切にしながら、これからの人生を更に充実させ生涯学習を続けて下さい。心から敬服の言葉を申し上げお祝いの言葉とさせていただきます」。



また、このコロナウィルスについて資料をもとに専門的なお話にも触れ、出席者は熱心に耳を傾けていた。

4年卒業の30期生22人、大学院名誉博士課程の22期生8人それぞれに加藤学長より証書が渡された。また、大学院修士課程28期生22人を代表して後藤政則さん、大学院博士課程26期生12人を代表して青山公子さんに証書が渡された。続いて4年間皆勤賞は山下 貢さん、4年間精勤賞は小林秀昭さん、佐藤 功さん、三浦誠壽さん、三浦敦美さん、和田義廣さんが受賞し、代表して山下 貢さんに学長より賞状と記念品が渡された。



4年間修業した30期生を代表して菊池敏子さんが「雪解けも進み、めつり春めいてきました今日この頃です。この佳き日にUHB大学には特別のご配慮頂き、本日この様な心尽くしの卒業式を迎えさせて頂くことが出来たことを30期生一同深く感謝申し上げます。シニアですから気持ちちは若くとも、4年間通学できるだろうかと、入学当初は4年間が長く感じられたのですが、過ぎてみればあつという間の日々に思われます。この間には、心ならずも退学されていた方もいらっしゃると思います。幸運にも元気で大学生活を満喫し、自分の中のささやかな能力開発、知り合うことのできた友人たち



との交流はかけがえのないもので、楽しい日々でした。大学事務局皆様のご苦労には、改めて感謝申し上げます。『百の窓みな開け放ち卒業歌』これは知人の俳句ですが、私は深く心打たれました。コロナ禍に旅立ちの時を迎えましたが、4年間を糧として元気に飛翔していくことをお誓いします。有難うございました」と、答辞を述べた。

各期ごとに学長を囲み記念写真を撮影式は無事閉会した。



同好会活動

パークゴルフ同好会

4月20日テレビ塔2階会議室「すらん」にて定期総会が開催され、前年度の月例活動が報告された。新型コロナウイルス拡大の影響を受け、大学休講に合わせ同好会も自粛し7月から10月までの3回の開催となった。(9月例会は中止)続いて決算報告がされ、会員により承認された。幹事は大変だったがそれでも出席率は8割と好評だった。

今年度も緊急事態宣言が発令され大学も休講となり、5月から予定されていた月例は中止。感染拡大を注視しパークゴルフ同好会としての今年度の活動はすべて中止とした。

ゴルフ同好会

4月13日ギヤラリー大通美術館2階教室にて総会が開催された。令和2年度の活動報告がされ、5月から6月までの3回が新型コロナウイルス感染予防のため中止となった事が報告された。第1回は7月8日のリージェント新コースで68%の参加率でのスタートとなった。結局4回の開催とオープンコンペで終了した。続いて決算報告が承認され、新年度のコンペ開催予定と予算案、新ハンディキヤップが報告された。

また、今年度からの新役員が紹介され、34期生1人を迎え23人でのスタートとなったが5月から予定されていた3回のコンペも緊急事態宣言が発令されたため中止となった。

緊急事態宣言が解除されやつと7月のコンペから活動が始まった。

第4回コンペ(9月22日) 札幌リージェントゴルフ倶楽部 旧コース					第3回コンペ(9月8日) ゴールト札幌CC					第1回コンペ(7月7日) 札幌リージェントゴルフ倶楽部 新コース				
優勝	大畑 順市 (19期生)	N 67	H 29		優勝	櫻井 孝 (UU会員)	N 70	H 27		優勝	及川 隆夫 (25期生)	N 68	H 19	
準優勝	鶴田 靖子 (28期生)	N 70	H 36		準優勝	鶴田 靖子 (28期生)	N 72	H 40		準優勝	渡邊 理彦 (29期生)	N 70	H 25	
第3位	菊地 栄一 (33期生)	N 73	H 10		第3位	川尻 晴夫 (UU会員)	N 76	H 14		第3位	穀山 敏 (トブアグエーション 編設)	N 70	H 18	
第4位	及川 隆夫 (25期生)	N 76	H 12		第4位	菊地 栄一 (33期生)	N 77	H 10		第4位	大畑 順市 (19期生)	N 71	H 30	
第5位	穀山 敏 (トブアグエーション 編設)	N 76	H 17		第5位	及川 隆夫 (25期生)	N 77	H 12		第5位	後藤 政則 (28期生)	N 75	H 36	

※第2回コンペ(8月25日) エルムカントリー倶楽部東コースは雨天のため流会となった

ゴルフの楽しみ

コロナ禍でのゴルフで、今年も同好会コンペは緊急事態宣言で6月迄中止を余儀なくされました。自粛生活の長期化で友人、知人との会合や飲み会、又、旅行にも行けない環境で、今、私の唯一の楽しみはゴルフです。

UHB大学に入学会後、ゴルフ同好会を知り、即入会しました。以来、新しい人達と出会い、会社時代のゴルフとは違った何の絡みやしがらみのない素晴らしい仲間と純粋にゴルフを楽しんでいます。

毎年このゴルフコンペを楽しみにしている中、今年7月第1回目のコンペが開催されました。最初のコンペで優勝するとUHB大学報の原稿が約束事となっています。しかし、そんな事はいつも他人事だと思っていたのでプレーに集中していましたが、そんな時に限って良いショットが続くものです。ドライバー、アイアン、寄せ、パターと私のレベルにしては上手くいくではありません。気が付くと残り3ホール相変わらずショットは安定しています。

ここで再度、原稿掲載が頭を過ります。スコアの調整をしなければと思いつつもプロではないのでそんな事が出来るはずはありません。ましてやいつもいいスコアが出るわけでもないのに、プレーに集中した結果、初優勝を飾る事が出来、栄えある作文を今こうして書いています。

退職して10年、今ゴルフが一番楽しいです。現役時代は仕事からみのゴルフが多く余り真剣に取り組む事はありませんでした。しかし、今では時間が充分にあるせいもあり、ゴルフに対する見方が変わ

りました。技術面やメンタル面でも今までの取り組みが如何に間違っていたかが分かりました。何よりゴルフの難しさ、それ以上にゴルフの楽しみ方が分かってきた様な気がします。同好会には色々な人、ゴルフの諸先輩が沢山います。80代でも元気にプレーする大先輩もいます。私も80歳迄プレー出来るのか不安です。でも大きな目標にもなっています。何歳になっても向上心は持ち続けたいと思います。継続は力になります。妻ともよく確認しますが、身体が元気で動けるうちに好きなことに集中しようとよく話しています。

UHB大学ゴルフ同好会は和気相合いと本当にゴルフを楽しむ方の集まりで非常に居心地のいい会でもあります。

初心者経験者男女も問いませんので一緒にゴルフをそして人生を楽しみましょう。新入会員をお待ちしています。

おめでとう

★第68回写真道展(北海道新聞社、北海道写真協会主催)において、第3部ネイチャーフォトで小林 久勝さん(26期生)が入選されました。

★第62回北海道書道展(北海道新聞社主催、道書道連盟、道後援)第1部漢字において吉田 恵一さん(UU会員)が入選、第4部詩文書で小比賀 秋水先生が入選されました。

★春の叙勲において鹿内 正一さん(21期生)が瑞宝双光章を受章されました。

おくりやみ

心から冥福をお祈りします。

浜出 和子さん(UU会員・7期生)
令和3年2月15日逝去されました。

小林 光男さん(UU会員・5期生)
令和3年3月16日逝去されました。

藤原由紀子さん(18期生・休学中)
令和3年3月28日逝去されました。

志賀 秀則さん(28期生・休学中)
令和3年5月17日逝去されました。

中谷 弘さん(UU会員・9期生)
令和3年6月逝去されました。

門崎 千代さん(13期生・3才講座)
令和3年7月15日逝去されました。

羽生知子さん(29期生・書道講座)
令和3年7月22日逝去されました。

編集後記

☆6月15日の株主総会において、UHB大学事務局を運営している(株)トップ・クリエーションの社長に菊谷 康行が就任し、穀山敏は相談役となりました。

☆休講が続く、授業もままならない状況ではありましたが、文化祭は舞台発表が10月26日道新ホール、作品発表は10月26日から31日までギヤラリー大通美術館で開催されます。

☆コロナが一刻も早く終息し、昔のような安心した日々を送れるようにと願うばかりです。

発行
uhb 大学
事務局
札幌市中央区
北1条西14丁目
北海道文化放送内
(011)214-5225